乙女心揺らすビブラート

まちの埋蔵文化人

岡直弥（おかなおや）さん（17）

クロマチックハーモニカ グランプリに輝く演奏者

お年頃のイケメン男子が、誘惑に目もくれずハーモニカに全力投球している。大阪府立緑風冠高校（大東市）の2年生。「だいたい何でも吹けます」というので、尾崎豊の「I LOVE YOU」をリクエストすると、ケースから大事に取り出したクロマチックハーモニカで奏でてくれた。独特の音色にビブラートをきかせる。

他の生徒たちから「お～」とどよめきが起きた。嵐の「Monster」は？知らないというので記者が歌うと、耳コピーして即興で演奏してくれた。

クロマチックの吹き口は一列で穴が16ある。右端にスライドレバーがあり、押すと半音がでる。4オクターブ出せるためジャズやポップス、クラシックなど、ほとんどの曲をカバーできるという。

小学3年の音楽の授業でハーモニカにはまった。チラシで見た教室に通い、クロマチックと出会う。「人によって音色が違うし、感情表現しやすい。歌と同じで、誰かのまねはできないんです」

高校受験の直前には、ハーモニカ発祥の地・ドイツで開かれた世界大会ユース部門で第3位に。ハーモニカの世界組織「FIH」日本支部のコンテストで今年、クロマチックのジャズ&ポップス部門で1位を取ったうえ、全6部門の1位から選ばれるグランプリにも輝いた。

老人ホームや貸し切り電車内での演奏など、地元でも引っ張りだこ。文化祭では、「ハナミズキ」や「栄光の架橋」を披露した。女子生徒たちは「めっちゃヤバかった。かっこよすぎて泣いた」。

「でも全然モテないんです」。毎日2時間の練習に、月4回のレッスン。「誰も見ていなくても、掃除をサボることがない」（担任）。こんな息子ならお母さんたちが喜ぶ、実直で気さくな青年だ。

クリスマスも演奏

「ハーモニカをたくさんの人に知ってほしい」という志で、クリスマスも演奏にはしる。24日は正午と午後2時半からの2回、兵庫県西宮市の西宮阪急4階で、ハーモニカ演奏会を開く。（中塚久美子）

夢はプロの演奏家。市販はしていないが、CDを2枚出している＝大阪府大東市、滝沢美穂子撮影